

世界の動物用医薬品企業メリアル、創立 10 周年

2007 年 8 月 1 日

2007 年 8 月 1 日、メリアルは創立 10 周年を迎えました。Merck 社と sanofi-aventis 社の折半出資の合弁会社メリアルは、“共に動物の健康を守ろう”という包括的なテーマの下に、この創立 10 周年を迎えられましたことを皆様とともに祝いたいと思います。ここに 10 周年を迎えることができたのは、コンパニオンアニマル、産業動物および野生動物への最良の医療の提供を目的とした、獣医師、生産者、研究者、政府機関の方々など多くの人たちとメリアルとの強い絆の賜物と感謝申し上げます。

メリアルの成功の基礎となった前身企業の財産

創立後今日までの 10 年間のメリアルの動物用医薬品年間販売額の伸び率は 60%以上となり、常に業界全体の平均成長率を上回って伸びてきました。この間に、メリアルでは動物用医薬品とワクチンの研究・開発、製造、販売の部門でおよそ 1,300 人分の新たな仕事を創出しました。現在ある仕事の 4 分の 1 はメリアル設立当初は存在しないものでした。

メリアル社代表取締役社長ジョゼ・バレラ(Jose Barella)は次のように申しています。「そのルーツを辿ればレイ・パスツールにまで遡る企業にとって 10 年は長くはありませんが、10 周年記念を機に、今までの歩みを振り返り今後を展望したいと思います。獣医療に携わる全ての分野の人々が共に働くことによって動物医療の将来を切り開いていけるのです。だからこそ、“共に動物の健康を守ろう”という私たちのテーマは意味あるものになるのです。」

1997 年 8 月 1 日設立以来、メリアルは常に動物用医薬品分野のリーダー企業でいます。親会社から獣医療界の 2 つの至宝～フィプロニルとイベルメクチン～を受け継ぎました。

フィプロニルはフロントライン®という製品名で、犬猫用ノミ・マダニ駆虫剤として世界中の犬・猫のオーナーに知られています。一方イベルメクチンは、家畜の内部寄生虫と外部寄生虫の両方を駆除する世界初の有効成分でした。今日では、牛、羊、豚用の各種アイボメック®製品群ばかりでなく、犬および猫の犬糸状虫症予防剤ハートガード®（日本ではカルドメック®の商品名）、馬用駆虫剤エクイバラン®に使用されています。

家庭で、農場で、野性動物の世界で見られた 10 の変化

フィプロニルとイベルメクチン、この 2 つの製品群はメリアルの固い基盤となりました。特に、フロントラインの成功によって、メリアルは他社のどこよりも早くコンパニオンアニマル分野にシフトしていくことができました。

家庭では、

この 10 年間でペットが家族の一員と認められるようになった傾向は、獣医師の先生方も認めるどころでしょう。犬猫はもちろん、馬をペットに含める場合もありますが、オーナーはそれらの伴侶動物に長生きで幸福な生涯をすごしてほしいと考えています。そういうペットオーナーの願いを実現するためにメリアルは積極的な役割を果たしてきました。フロントラインに続く製品として、より長生きすることで発生率の増えた犬の変形性関節症の治療に用いる非ステロイド性消炎

鎮痛剤プレビコックス®（成分名：フィロコキシブ）、猫用ワクチン ピュアボックス®（日本では未承認）などのワクチン群です。

農場では、

一方、農場では生産者が生産性改善と消費者のニーズに合った高品質の生産物の生産を目的に獣医師と協力して疾病予防プログラムをつくる傾向が最近は見られます。

アイボメック®製品群に加えて、世界で唯一の乳汁において休薬期間ゼロの寄生虫駆除剤エプリネックス(成分：エプリノメクチン)（日本では未承認）を発売しました。また、牛、羊、豚、鶏など各種家畜用ワクチンをもっています。たとえば、豚のサーコウイルスによる消耗性疾患を予防するためのワクチン「サーコバック®」（日本では未承認）や世界中で見られる鶏の2つの疾病・マレック氏病とIBD（伝染性ファブリキウス嚢病）ワクチン「バクシテック HVT + IBD®」（日本では未承認）のような画期的な製品を世に送り出しています。

また、メリアルは広域流行性の家畜の疾病との戦いにおいても重要な役割を演じています。口蹄疫ワクチン製造の世界のリーダーとして、メリアルは、流行性疾病の発生の報告を受けるや当局の疾病対策支援のために、抗原保存場所から短時間のうちに記録的な早さでワクチン供給を果たしたこともあります。高病原性鳥インフルエンザ株を含む鳥インフルエンザワクチンも数種もち、またヨーロッパで流行が懸念されている新興感染症のブルータング病ワクチンなどを開発しました。

野生動物に

絶滅危惧種の野生動物救済のために、獣医師の手によりメリアル製品が使用されています。ジャイアントパンダ、狐、フェレット、アライグマ、豹などが対象になっています。

メリアル：製品群の広さ、市場の広さは世界規模

ワクチンと動物用医薬品の両分野で世界のリーダーであるメリアルは、動物用医薬品の専門企業であるという点で他に類を見ない存在です。自社の総合研究開発施設を通じて、また親会社の sanofi-aventis と Merck のサポートを得て、メリアルは新製品開発を行い、世界中の家畜生産者、ペットオーナー、獣医師、獣医療の提供者らのニーズに合うサービスを提供しています。

従業員数は 5,000 名以上、メリアルは世界中いたるところで活動しています。フランス、アメリカ、イタリア、ブラジル、イギリス、ウルグアイ、中国に製造施設を備え、また、フランス、アメリカ、ドイツ、ブラジルに研究開発施設を有しています。アメリカ・ジョージア州ドゥルース (Duluth) に本社を、フランス・リヨン市(Lyon)にヨーロッパ・中東・アフリカを統括するヨーロッパ本社を置いています。2006 年年間販売額はおおよそ 22 億ドル（約 2,600 億円）です。販売額世界第一位の動物用医薬品フロントラインは、メリアルの販売額の 40%を占めています。ほかにワクチンが 26%、イベルメクチン製剤が 23%の販売額を占めています。

これからの 10 年に向けて

“共に動物の健康を守ろう”というテーマは変わりません。2007 年初め、学界の技術パートナーとの共同研究の成果として、メリアルは、人医療の分野でも獣医療の分野においても世界初となる癌治療用ワクチンの条件付承認を取得しました。この犬メラノーマワクチンは現在 アメリカで使用されています。

昨年、メリアルは生産能力拡大と施設の近代化のために多額の設備投資を決定し、それは現在各施設で進行しています。この結果、メリアルは世界中の動物用医薬品に対する需要の変化と需要の増加に今後とも長期的に対応していくことが可能になります。

メリアルとは、

メリアルは研究開発主導型の、動物用医薬品の世界のリーダー企業で、多くの動物の健康増進と生産性の向上のために、広範囲にわたる製品を提供しています。世界中で、従業員数はおよそ 5,000 名、150 ヶ国以上の国で製品が販売されています。2006 年年間販売高はおよそ 22 億ドル(約 2,600 億円)です。メリアルは Merck & Co, Inc と sanofi-aventis を親会社とする合弁会社です。

さらに詳しくはウェブサイト(www.merial.com)をご覧ください。

® はメリアルの所有登録商標